

3-3	ワクチン接種と正の外部性（外部効果）	所属 東洋大学文学部 氏名 栗原 久
資料名	<p>NHK 「世界のワクチン接種状況」 https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/vaccine/world_progress 2021年8月24日取得</p> <p>読売新聞 「ワクチン接種者に100ドル支給、バイデン氏が各州に呼び掛け」 https://www.yomiuri.co.jp/world/20210730-OYT1T50137 2021年7月31日取得</p>	
資料内容	<p>○ 日本では、新型コロナのワクチン接種が、急速に進んでいる。</p> <p>○ ところが、世界的に見ると、ワクチンの接種率がある程度のところまで進むと、高止まりしてしまう傾向がある。</p> <p>○ このため、アメリカでは、ワクチン接種の促進策として、接種者への100ドルの現金給付が一部の州で実施されている。バイデン大統領は、すべての地方政府に同様の制度の創設を求めた。</p>	
教科書等との関連	<p>中学校公民的分野 私たちの消費生活 市場経済 高等学校公民科 市場経済の機能と限界 市場の失敗</p>	
キーワード	<p>コロナ 市場の失敗 外部経済 インセンティブ</p>	
ねらい	<p>◆「市場経済のしくみ」で「市場の失敗」の事例として「外部経済」があることを学習した後に、新型コロナのワクチン接種には義務教育と同じように、正の外部性があることを理解させる。</p>	
活用場面 あるいは 授業プラン の概略	<p>発問</p> <p>コロナ感染症の拡大を防止するために、ワクチンの接種を速やかに進めることが課題となりました。ワクチンの接種は、日本では（ほとんどの国では）公費によって、無料で行われています。アメリカでは、ワクチンを接種すれば100ドルをもらえる州があります。バイデン大統領は、この制度を全米に広げようとしています。なぜ、政府は無償にしてまで（接種者に現金給付をしてまで）ワクチン接種を積極的に推奨しているのですか。</p> <p>解説</p> <p>ワクチンを接種すると、接種した本人がコロナ感染症にかかりにくくなる（重症化しにくくなる）だけではなく、集団で免疫を獲得すれば社会全体で感染症の拡大を防げます。つまり、ワクチン接種には、本人だけではなく、周りの人にも利益のある正の外部性（外部経済）があると考えられます。</p> <p>日本国憲法が「義務教育は、これを無償とする」（第26条）と規定するのも、ワクチン接種と同じ理由です。つまり、基礎的な教育を無料ですべての人に提供する制度には、正の外部性があるということです。Aさんが基礎的な教育を受けることは、Aさん自身の利益になるだけではなく、社会全体の利益になることが期待されます。たとえば、Aさんが、社会規範に沿って行動できるようになる、自立して生活できる、スキルのある働き手となって納税することが期待できる、などです。</p> <p>ただし、ワクチン接種の場合、その効果が社会全体で現れ流行が収束してくると（集団免疫が得られるようになる）、副反応のリスクを冒してまで接種しようとする人が減ってしまう可能性があります。だから、接種へのインセンティブとして様々な方法（現金給付もその一つ）が工夫されるようになったのです。</p>	